

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年後期・2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(演習)	MOS応用	武内 正史	60時間(4単位)
授業の到達目標			
MOS試験科目のうち、「Word」「Excel」に合格するだけの力を養う			
講義概要			
アプリケーション中級レベル合格を目指し、アプリケーション中級レベルの操作方法を学ぶ			
授業内容			
1 オリエンテーション(授業の進め方等)			
2 表計算ソフトの基本操作①グラフの作成			
3 表計算ソフトの基本操作②			
4 表計算ソフトの基本操作③			
5 表計算ソフトの基本操作④			
6 表計算ソフトの応用操作①関数について			
7 表計算ソフトの応用操作②			
8 表計算ソフトの応用操作③			
9 表計算ソフトの応用操作④			
10 小テスト			
11 表計算ソフトの応用操作①複合グラフの作成			
12 表計算ソフトの応用操作②			
13 表計算ソフトの応用操作③			
14 表計算ソフトの応用操作④			
15 表計算ソフトの応用操作①ピボットテーブル・マクロ			
16 表計算ソフトの応用操作②			
17 表計算ソフトの応用操作③			
18 表計算ソフトの応用操作④			
19 プレゼンテーションソフトの基本操作①コンテンツの作成			
20 プレゼンテーションソフトの基本操作②			
21 プレゼンテーションソフトの基本操作③			
22 プレゼンテーションソフトの基本操作④			
23 プレゼンテーションソフトの基本操作⑤			
24 プレゼンテーションソフトの基本操作①印刷設定など			
25 プレゼンテーションソフトの基本操作②			
26 プレゼンテーションソフトの基本操作③			
27 プレゼンテーションソフトの基本操作④			
28 プレゼンテーションソフトの基本操作⑤			
29 まとめ			
30 定期試験			
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物			
成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
演習形式。PC教室使用。印刷教材を使用する。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(演習)	MOS基礎	高木 大輔	60時間(4単位)
授業の到達目標			
MOS試験科目のうち、「Word」「Excel」に合格するだけの力を養う			
講義概要			
アプリケーション中級レベル合格を目指し、アプリケーション中級レベルの操作方法を学ぶ			
授業内容			
1	オリエンテーション(授業の進め方等)		
2	Word文書作成とカスタマイズ①		
3	Word文書作成とカスタマイズ②		
4	Word文書作成とカスタマイズ③		
5	Word文書作成とカスタマイズ④		
6	Word文章の設定①		
7	Word文章の設定②		
8	Word文章の設定③		
9	Word文章の設定④		
10	小テスト		
11	Wordビジュアル・コンテンツの操作①		
12	Wordビジュアル・コンテンツの操作②		
13	Wordビジュアル・コンテンツの操作③		
14	Wordビジュアル・コンテンツの操作④		
15	Word文章の整理①		
16	Word文章の整理②		
17	Word文章の整理③		
18	Word文章の整理④		
19	Word文書の校閲①		
20	Word文書の校閲②		
21	Word文書の校閲③		
22	Word文書の校閲④		
23	Word文書の校閲⑤		
24	Excelデータの作成と操作①		
25	Excelデータの作成と操作②		
26	Excelデータの作成と操作③		
27	Excelデータの作成と操作④		
28	Excelデータの作成と操作⑤		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件: 校則に準じた出席と提出物 成績評価: 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
演習形式。PC教室使用。印刷教材を使用する。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(演習)	ウェイトトレーニング演習 I	武内 正史	60時間(4単位)
授業の到達目標			
ウェイトトレーニングの基礎知識、正しい方法、効果を理解する。			
講義概要			
ウェイトトレーニングの基礎知識及び指導法を習得させる。			
授業内容			
1	オリエンテーション(授業の進め方等)		
2	ウェイトトレーニングとは①		
3	ウェイトトレーニングとは②		
4	ウェイトトレーニングとは③		
5	筋肉について①		
6	筋肉について②		
7	筋肉について③		
8	筋肉について④		
9	トレーニングマシンの使用法、特徴、利点について①		
10	トレーニングマシンの使用法、特徴、利点について②		
11	トレーニングマシンの使用法、特徴、利点について③		
12	トレーニングマシンの使用法、特徴、利点について④		
13	小テスト		
14	フリーウェイトの使用法、特徴、利点について①		
15	フリーウェイトの使用法、特徴、利点について②		
16	フリーウェイトの使用法、特徴、利点について③		
17	フリーウェイトの使用法、特徴、利点について④		
18	小テスト		
19	筋収縮の種類①		
20	筋収縮の種類②		
21	筋収縮の種類③		
22	筋収縮の種類④		
23	筋収縮の種類⑤		
24	小テスト		
25	負荷の決め方①		
26	負荷の決め方②		
27	負荷の決め方③		
28	腕部 ウェイトトレーニング種目について		
29	肩部、胸部 ウェイトトレーニング種目について		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
実技(トレーニングセンター)を基本とし、ロールプレイングやプレゼンテーションも行う。授業以外にも、スポーツクラブやフィットネスクラブでの経験と野球指導・サッカー指導経験を留学生に対し、ウェイトトレーニングの指導を実施する。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年後期・2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(演習)	ウェイトトレーニング演習Ⅱ	小泉 裕子	60時間(4単位)
授業の到達目標			
ウェイトトレーニングの応用知識、正しい方法、効果を理解する。			
講義概要			
ウェイトトレーニングの応用知識及び指導法を習得させる。			
授業内容			
1	ガイダンス 授業の進め方 内容		
2	トレーニングの概念①		
3	トレーニングの概念②		
4	トレーニングの概念③		
5	部位別指導法 肩部のトレーニング①		
6	部位別指導法 肩部のトレーニング②		
7	部位別指導法 肩部のトレーニング③		
8	小テスト		
9	腰部のトレーニング①		
10	腰部のトレーニング②		
11	腰部のトレーニング③		
12	腹部のトレーニング①		
13	腹部のトレーニング②		
14	腹部のトレーニング③		
15	背中のトレーニング①		
16	背中のトレーニング②		
17	背中のトレーニング③		
18	下肢のトレーニング①		
19	下肢のトレーニング②		
20	下肢のトレーニング③		
21	胸部のトレーニング①		
22	胸部のトレーニング②		
23	胸部のトレーニング③		
24	補助種目		
25	パワートレーニング①		
26	パワートレーニング②		
27	初動負荷と終動負荷…理論		
28	実技①		
29	実技②		
30	模擬試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
実技(トレーニングセンター)を基本とし、ロールプレイングやプレゼンテーションも行う。 長年高校教諭としてウェイトリフティング部の指導していた実務経験を活かし、留学生に対し指導いたします。			

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	コミュニケーション開発論Ⅰ	西貝 雅人	60時間(4単位)
授業の到達目標			
求められる人材としての一般的社会人基礎力を身に付ける			
講義概要			
相互コミュニケーションが図れる切り口や題材を知り、アウトプットできるようにする			
授業内容			
1	オリエンテーション(授業の進め方等)		
2	物事に進んで取り組む力をつける①		
3	物事に進んで取り組む力をつける②		
4	物事に進んで取り組む力をつける③		
5	物事に進んで取り組む力をつける④		
6	物事に進んで取り組む力をつける⑤		
7	物事に進んで取り組む力をつける⑥		
8	小テスト		
9	他人に働きかけ巻き込む力の重要性を知る①		
10	他人に働きかけ巻き込む力の重要性を知る②		
11	他人に働きかけ巻き込む力の重要性を知る③		
12	他人に働きかけ巻き込む力の重要性を知る④		
13	他人に働きかけ巻き込む力の重要性を知る⑤		
14	小テスト		
15	目的を設定し、確実に行動する力をつける①		
16	目的を設定し、確実に行動する力をつける②		
17	目的を設定し、確実に行動する力をつける③		
18	目的を設定し、確実に行動する力をつける④		
19	目的を設定し、確実に行動する力をつける⑤		
20	目的を設定し、確実に行動する力をつける⑥		
21	計画力①		
22	計画力②		
23	計画力③		
24	計画力④		
25	想像力①		
26	想像力②		
27	想像力③		
28	想像力④		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
教室での講義形式。印刷教材を使用する。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年後期・2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	コミュニケーション開発論Ⅱ	西貝 雅人	60時間(4単位)
授業の到達目標			
社会人のマナーやルールを理解し、他社に敬意を払い、円滑なコミュニケーションを習得する。			
講義概要			
変化の激しい中、これが正しいというキャリアモデルはなく、自ら考え学び自分の将来像を探求する。			
授業内容			
1 オリエンテーション(授業の進め方等)			
2 キャリアと仕事へのアプローチⅠ			
3 キャリアと仕事へのアプローチ②			
4 キャリアと仕事へのアプローチ③			
5 キャリアと仕事へのアプローチ④			
6 キャリアと仕事へのアプローチ⑤			
7 キャリアと仕事へのアプローチ⑥			
8 小テスト			
9 仕事に基本となる8つの意識①			
10 仕事に基本となる8つの意識②			
11 仕事に基本となる8つの意識③			
12 仕事に基本となる8つの意識④			
13 話し方と聞き方のポイント①			
14 話し方と聞き方のポイント②			
15 話し方と聞き方のポイント③			
16 話し方と聞き方のポイント④			
17 話し方と聞き方のポイント⑤			
18 話し方と聞き方のポイント⑥			
19 小テスト			
20 指示の受け方と、報告・連絡・相談①			
21 指示の受け方と、報告・連絡・相談②			
22 指示の受け方と、報告・連絡・相談③			
23 指示の受け方と、報告・連絡・相談④			
24 指示の受け方と、報告・連絡・相談⑤			
25 訪問と来客対応の基本マナー①			
26 訪問と来客対応の基本マナー②			
27 訪問と来客対応の基本マナー③			
28 訪問と来客対応の基本マナー④			
29 まとめ			
30 定期試験			
成績評価			
履修条件: 校則に準じた出席と提出物 成績評価: 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
教室での講義形式。印刷教材を使用する。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	コミュニケーション論 I	西貝 雅人	60時間(4単位)
授業の到達目標			
中級・上級レベルの日本語を復習・学習し、基礎能力を高める。			
講義概要			
日本での就職に必要なビジネスコミュニケーションをとるための基本概念を学ぶ			
授業内容			
1	ガイダンス(授業の進め方等)		
2	コミュニケーション上手になるために①		
3	コミュニケーション上手になるために②		
4	コミュニケーション上手になるために③		
5	コミュニケーション上手になるために④		
6	自分の世界を広げてみよう①		
7	自分の世界を広げてみよう②		
8	自分の世界を広げてみよう③		
9	自分の世界を広げてみよう④		
10	小テスト		
11	自分を知る (自分の強み)		
12	自分を知る (自分はどう見られたいか)		
13	自分を知る (自己紹介)		
14	自分を知る (ファッションチェック)		
15	聞く技術①		
16	聞く技術②		
17	聞く技術③		
18	聞く技術④		
19	聞く技術⑤		
20	伝える技術①		
21	伝える技術②		
22	伝える技術③		
23	伝える技術④		
24	伝える技術⑤		
25	小テスト		
26	説明のコミュニケーション		
27	報告のプレゼンテーション		
28	依頼のプレゼンテーション		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
講義(教室)。グループ発表やプレゼンテーションも行う。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年後期・2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	コミュニケーション論Ⅱ	内山 卓也	60時間(4単位)
授業の到達目標			
中級・上級レベルの日本語を復習・学習し、基礎能力を高める。			
講義概要			
日本での就職に必要なビジネスコミュニケーションをとるための基本概念と応用			
授業内容			
1	ガイダンス(授業の進め方等)		
2	コミュニケーションとニーズ①		
3	コミュニケーションとニーズ②		
4	コミュニケーションとニーズ③		
5	コミュニケーションとニーズ④		
6	コミュニケーションとニーズ⑤		
7	コミュニケーションの4つの視点①		
8	コミュニケーションの4つの視点②		
9	コミュニケーションの4つの視点③		
10	コミュニケーションの4つの視点④		
11	小テスト		
12	文化に対する視点の多様化①		
13	文化に対する視点の多様化②		
14	文化に対する視点の多様化③		
15	文化に対する視点の多様化④		
16	文化に対する視点の多様化⑤		
17	文化に対する視点の多様化⑥		
18	小テスト		
19	言語コミュニケーション①		
20	言語コミュニケーション②		
21	言語コミュニケーション③		
22	言語コミュニケーション④		
23	言語コミュニケーション⑤		
24	言語コミュニケーション⑥		
25	言語コミュニケーション⑦		
26	言語コミュニケーション⑧		
27	言語コミュニケーション⑨		
28	言語コミュニケーション⑩		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件: 校則に準じた出席と提出物 成績評価: 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
講義(教室)使用。グループ発表やプレゼンテーションも行う。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	スポーツeプロモーション I	小泉 裕子	60時間(4単位)
授業の到達目標			
生涯スポーツ時代のスポーツプロモーションの理念と戦略を知る			
講義概要			
スポーツプロモーションの理念、目的、内容、方法について理解する			
授業内容			
1 オリエンテーション(授業の進め方等)			
2 これまでのスポーツ政策の特徴①			
3 これまでのスポーツ政策の特徴②			
4 これまでのスポーツ政策の特徴③			
5 これまでのスポーツ政策の特徴④			
6 これまでのスポーツ政策の特徴⑤			
7 これまでのスポーツ政策の特徴⑥			
8 小テスト			
9 生涯スポーツ論の登場と背景①			
10 生涯スポーツ論の登場と背景②			
11 生涯スポーツ論の登場と背景③			
12 生涯スポーツ論の登場と背景④			
13 生涯スポーツ論の登場と背景⑤			
14 小テスト			
15 ライフステージ論としての生涯スポーツ①			
16 ライフステージ論としての生涯スポーツ②			
17 ライフステージ論としての生涯スポーツ③			
18 ライフステージ論としての生涯スポーツ④			
19 ライフステージ論としての生涯スポーツ⑤			
20 ライフステージ論としての生涯スポーツ⑥			
21 ライフスタイルとしての生涯スポーツ①			
22 ライフスタイルとしての生涯スポーツ②			
23 ライフスタイルとしての生涯スポーツ③			
24 ライフスタイルとしての生涯スポーツ④			
25 ライフスタイルとしての生涯スポーツ⑤			
26 ライフスタイルとしての生涯スポーツ⑥			
27 ライフスタイルとしての生涯スポーツ⑦			
28 ライフスタイルとしての生涯スポーツ⑧			
29 まとめ			
30 定期試験			
成績評価			
履修条件: 校則に準じた出席と提出物			
成績評価: 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
教室での講義形式。印刷教材を使用する。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年後期・2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	スポーツeプロモーションⅡ	小泉 裕子	60時間(4単位)
授業の到達目標			
スポーツプローション的視点から、民間すお一つ組織の現状と課題を理解する。			
講義概要			
スポーツプロモーションの理念を学習し、民間スポーツ組織について現状と課題を学ぶ			
授業内容			
1	オリエンテーション(授業の進め方等)		
2	生涯スポーツ論の概念と視点①		
3	生涯スポーツ論の概念と視点②		
4	生涯スポーツ論の概念と視点③		
5	生涯スポーツ論の概念と視点④		
6	生涯スポーツ論の概念と視点⑤		
7	生涯スポーツ論の概念と視点⑥		
8	小テスト		
9	子どもと遊び・スポーツ①		
10	子どもと遊び・スポーツ②		
11	子どもと遊び・スポーツ③		
12	子どもと遊び・スポーツ④		
13	子どもと遊び・スポーツ⑤		
14	小テスト		
15	青年とスポーツ①		
16	青年とスポーツ②		
17	青年とスポーツ③		
18	青年とスポーツ④		
19	青年とスポーツ⑤		
20	青年とスポーツ⑥		
21	成人とスポーツ①		
22	成人とスポーツ②		
23	成人とスポーツ③		
24	成人とスポーツ④		
25	成人とスポーツ⑤		
26	成人とスポーツ⑥		
27	成人とスポーツ⑦		
28	成人とスポーツ⑧		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
教室での講義形式。印刷教材を使用する。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	スポーツeマーケティングⅠ	小泉 裕子	60時間(4単位)
授業の到達目標			
マーケティングとは？からスタートし、企業戦略や広告・販促・PR活動の基礎を学ぶ			
講義概要			
情報システムや消費者の購買行動などについて、顧客についても学習する			
授業内容			
1	オリエンテーション(授業の進め方等)		
2	スポーツを通じたマーケティング戦略①		
3	スポーツを通じたマーケティング戦略②		
4	スポーツを通じたマーケティング戦略③		
5	スポーツを通じたマーケティング戦略④		
6	スポーツを通じたマーケティング戦略⑤		
7	スポーツを通じたマーケティング戦略⑥		
8	小テスト		
9	マーケティングの為の情報収集①		
10	マーケティングの為の情報収集②		
11	マーケティングの為の情報収集③		
12	マーケティングの為の情報収集④		
13	マーケティングの為の情報収集⑤		
14	小テスト		
15	顧客価値、顧客満足について考える①		
16	顧客価値、顧客満足について考える②		
17	顧客価値、顧客満足について考える③		
18	顧客価値、顧客満足について考える④		
19	顧客価値、顧客満足について考える⑤		
20	顧客価値、顧客満足について考える⑥		
21	消費者市場の分析①		
22	消費者市場の分析②		
23	消費者市場の分析③		
24	消費者市場の分析④		
25	消費者市場の分析⑤		
26	消費者市場の分析⑥		
27	消費者市場の分析⑦		
28	消費者市場の分析⑧		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
教室での講義形式。ロールプレイングやプレゼンテーションも行う。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年後期・2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	スポーツeマーケティングⅡ	小高 深雪	60時間(4単位)
授業の到達目標			
スポーツにおけるマーケティングを基礎から学び、ネットマーケティングまでを習得目標とする。			
講義概要			
スポーツとネットマーケティングについての基礎から戦略までを学ぶ			
授業内容			
1	オリエンテーション(授業の進め方等)		
2	ネットマーケティング戦略の考え方①		
3	ネットマーケティング戦略の考え方②		
4	ネットマーケティング戦略の考え方③		
5	ネットマーケティング戦略の考え方④		
6	ネットマーケティング戦略の考え方⑤		
7	ネットマーケティング戦略の考え方⑥		
8	小テスト		
9	ネットマーケティング指標基礎①		
10	ネットマーケティング指標基礎②		
11	ネットマーケティング指標基礎③		
12	ネットマーケティング指標基礎④		
13	ネットマーケティング指標基礎⑤		
14	小テスト		
15	インターネット広告の仕組み①		
16	インターネット広告の仕組み②		
17	インターネット広告の仕組み③		
18	インターネット広告の仕組み④		
19	インターネット広告の仕組み⑤		
20	インターネット広告の仕組み⑥		
21	広告配信技術基礎①		
22	広告配信技術基礎②		
23	広告配信技術基礎③		
24	広告配信技術基礎④		
25	広告配信技術基礎⑤		
26	広告配信技術基礎⑥		
27	広告配信技術基礎⑦		
28	広告配信技術基礎⑧		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件: 校則に準じた出席と提出物 成績評価: 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
教室での講義形式。PC教室を使用し実施する。			

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	スポーツとネットビジネス I	武内 正史	60時間(4単位)
授業の到達目標			
スポーツをビジネスとして成立させている要因やスポーツ団体の運営を支えることなどを習得する			
講義概要			
スポーツをビジネスとしてとらえ、大きなスポーツイベントや、地域スポーツ、広告とスポーツについて学習していく			
授業内容			
1	オリエンテーション(授業の進め方等)		
2	現代社会とスポーツ①		
3	現代社会とスポーツ②		
4	現代社会とスポーツ③		
5	ネットとスポーツとの関わり①		
6	ネットとスポーツとの関わり②		
7	ネットとスポーツとの関わり③		
8	ネットとスポーツとの関わり④		
9	ネットとスポーツとの関わり⑤		
10	小テスト		
11	スポーツビジネスの実態①		
12	スポーツビジネスの実態②		
13	スポーツビジネスの実態③		
14	スポーツビジネスの実態④		
15	スポーツビジネスの実態⑤		
16	小テスト		
17	スポーツ団体の運営方法①		
18	スポーツ団体の運営方法②		
19	スポーツ団体の運営方法③		
20	スポーツ団体の運営方法④		
21	オリンピックの運営①		
22	オリンピックの運営②		
23	オリンピックの運営③		
24	オリンピックの運営④		
25	ワールドカップサッカーの仕組み①		
26	ワールドカップサッカーの仕組み②		
27	ワールドカップサッカーの仕組み③		
28	ワールドカップサッカーの仕組み④		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
講義形式。PC教室・通常教室を併用にて実施。印刷教材を使用			

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	スポーツとネットビジネスⅡ	武内 正史	60時間(4単位)
授業の到達目標			
国内外におけるスポーツイベントに焦点を当て、情報をインターネットを使用しどうビジネスとしていくかを学習、理解する			
講義概要			
スポーツ用品、スポーツサービス情報、スポンサーの重要性などの知識を習得していく			
授業内容			
1 オリエンテーション(授業の進め方等)			
2 スポーツチームと情報との関係性①			
3 スポーツチームと情報との関係性②			
4 スポーツチームと情報との関係性③			
5 スポーツチームと情報との関係性④			
6 スポーツイベントのビジネスモデル①			
7 スポーツイベントのビジネスモデル②			
8 スポーツイベントのビジネスモデル③			
9 スポーツイベントのビジネスモデル④			
10 小テスト			
11 スポーツイベントの現状①			
12 スポーツイベントの現状②			
13 スポーツイベントの現状③			
14 スポーツイベントの現状④			
15 スポーツイベントの現状⑤			
16 小テスト			
17 スポーツイベントの集客と情報戦略①			
18 スポーツイベントの集客と情報戦略②			
19 スポーツイベントの集客と情報戦略③			
20 スポーツイベントの集客と情報戦略④			
21 小テスト			
22 スポーツ用品と情報との関係性①			
23 スポーツ用品と情報との関係性②			
24 スポーツ用品と情報との関係性③			
25 スポーツ用品と情報との関係性④			
26 スポーツサービスについて			
27 スポーツサービスについて			
28 スポーツサービスについて			
29 まとめ			
30 定期試験			
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物			
成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
講義形式。教室にて実施。印刷教材を使用			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(演習)	スポーツトレーニング応用演習Ⅰ	武内 正史	60時間(4単位)
授業の到達目標			
様々なスポーツトレーニング方法を応用し、将来指導者となった時に、状況に応じた運動処方を行えるコーチングを身に着けることを目標とする。			
講義概要			
スポーツトレーニングの基礎知識及び指導法を、実技を通じて習得させる。			
授業内容			
1 講義の進め方についての説明			
2 個人スポーツ競技のコーチング概要①			
3 個人スポーツ競技のコーチング概要②			
4 個人スポーツ競技のコーチング概要③			
5 個人スポーツ競技のコーチング概要④			
6 小テスト			
7 集団スポーツ競技のコーチング概要①			
8 集団スポーツ競技のコーチング概要②			
9 集団スポーツ競技のコーチング概要③			
10 集団スポーツ競技のコーチング概要④			
11 小テスト			
12 育成年代別のコーチングの概要①			
13 育成年代別のコーチングの概要②			
14 育成年代別のコーチングの概要③			
15 育成年代別のコーチングの概要④			
16 小テスト			
17 スポーツ技能に関するコーチングの概要①			
18 スポーツ技能に関するコーチングの概要②			
19 スポーツ技能に関するコーチングの概要③			
20 スポーツ技能に関するコーチングの概要④			
21 スポーツ技能に関するコーチングの概要⑤			
22 スポーツ技能に関するコーチングの概要⑥			
23 小テスト			
24 個別のスポーツ競技①			
25 個別のスポーツ競技②			
26 個別のスポーツ競技③			
27 個別のスポーツ競技④			
28 個別のスポーツ競技⑤			
29 まとめ			
30 定期試験			
成績評価			
履修条件: 校則に準じた出席と提出物			
成績評価: 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
講義(教室)と実技(トレーニングセンター)を併用。			

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年後期・2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(演習)	スポーツトレーニング応用演習Ⅱ	武内 正史	60時間(4単位)
授業の到達目標			
様々なスポーツトレーニング方法を応用し、将来指導者となった時に、状況に応じた運動処方を行える応用力を身に着けることを目標とする。			
講義概要			
スポーツトレーニングの基礎知識及び指導法を、実技を通じて習得させる。			
授業内容			
1	講義の進め方についての説明		
2	広義の体力概念(身体的要素)		
3	広義の体力概念(精神的要素)		
4	狭義の体力概念(防衛体力)		
5	狭義の体力概念(行動体力)		
6	小テスト		
7	スポーツ活動の継続が、防衛体力に及ぼす効果①		
8	スポーツ活動の継続が、防衛体力に及ぼす効果②		
9	スポーツ活動の継続が、防衛体力に及ぼす効果③		
10	行動体力の分類(筋力)		
11	行動体力の分類(筋持久力)		
12	行動体力の分類(全身持久力)		
13	行動体力の分類(敏捷性)		
14	行動体力の分類(平衡性)		
15	行動体力の分類(柔軟性)		
16	行動体力の分類(調整力)		
17	小テスト		
18	体力、心理、技術の関りについて①		
19	体力、心理、技術の関りについて②		
20	体力、心理、技術の関りについて③		
21	体力、心理、技術の関りについて④		
22	体力、心理、技術の関りについて⑤		
23	体力、心理、技術の関りについて⑥		
24	体力、心理、技術の関りについて⑦		
25	体力、心理、技術の関りについて⑧		
26	小テスト		
27	トレーニングの原理(過負荷)		
28	トレーニングの原理(特異性など)		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
講義(教室)と実技(トレーニングセンター)を併用。			

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(演習)	スポーツトレーニング基礎演習 I	武内 正史	60時間(4単位)
授業の到達目標			
様々なスポーツトレーニング方法を熟知し、将来指導者となった時に、状況に応じた運動処方を行える能力を身に着けることを目標とする。			
講義概要			
スポーツトレーニングの基礎知識及び指導法を、実技を通じて習得させる。			
授業内容			
1	オリエンテーション		
2	SAQトレーニング①		
3	SAQトレーニング②		
4	SAQトレーニング③		
5	SAQトレーニング④		
6	SAQトレーニング⑤		
7	SAQトレーニング⑥		
8	小テスト		
9	有酸素的運動とトレーニング①		
10	有酸素的運動とトレーニング②		
11	有酸素的運動とトレーニング③		
12	有酸素的運動とトレーニング④		
13	有酸素的運動とトレーニング⑤		
14	有酸素的運動とトレーニング⑥		
15	小テスト		
16	無酸素的運動とトレーニング①		
17	無酸素的運動とトレーニング②		
18	無酸素的運動とトレーニング③		
19	無酸素的運動とトレーニング④		
20	無酸素的運動とトレーニング⑤		
21	無酸素的運動とトレーニング⑥		
22	小テスト		
23	ストレッチングの理論と実技①		
24	ストレッチングの理論と実技②		
25	ストレッチングの理論と実技③		
26	ストレッチングの理論と実技④		
27	ストレッチングの理論と実技⑤		
28	ストレッチングの理論と実技⑥		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件: 校則に準じた出席と提出物 成績評価: 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
講義(教室)と実技(トレーニングセンター)を併用。			

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年後期・2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(演習)	スポーツトレーニング基礎演習Ⅱ	小高 深雪	60時間(4単位)
授業の到達目標			
様々なスポーツトレーニング方法を熟知し、将来指導者となった時に、状況に応じた運動処方を行える能力を身に着けることを目標とする。			
講義概要			
スポーツトレーニングの基礎知識及び指導法を、実技を通じて習得させる。			
授業内容			
1	トレーニングと栄養①		
2	トレーニングと栄養②		
3	トレーニングと栄養③		
4	トレーニングと栄養④		
5	トレーニングと栄養⑤		
6	トレーニングと栄養⑥		
7	トレーニングと栄養⑦		
8	トレーニングと栄養⑧		
9	トレーニングと栄養⑨		
10	トレーニングと栄養⑩		
11	トレーニングと栄養⑪		
12	トレーニングと栄養⑫		
13	トレーニングと栄養⑬		
14	小テスト		
15	局所筋運動とトレーニング①		
16	局所筋運動とトレーニング②		
17	局所筋運動とトレーニング③		
18	局所筋運動とトレーニング④		
19	局所筋運動とトレーニング⑤		
20	局所筋運動とトレーニング⑥		
21	局所筋運動とトレーニング⑦		
22	局所筋運動とトレーニング⑧		
23	局所筋運動とトレーニング⑨		
24	局所筋運動とトレーニング⑩		
25	局所筋運動とトレーニング⑪		
26	局所筋運動とトレーニング⑫		
27	局所筋運動とトレーニング⑬		
28	局所筋運動とトレーニング⑭		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
講義(教室)と実技(トレーニングセンター)を併用。			

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	スポーツ指導論	内山 卓也	60時間(4単位)
授業の到達目標			
スポーツ指導にあたって、基本的な指導方法と、指導企画の立案及びそれに基づいた指導ノウハウを身に付けることを目標とする。			
講義概要			
この科目では、健康・体力・レクリエーション・クラブ活動のスポーツ指導にあたって、基本的な指導方法を養う。また、競技者の指導法について実際に体験をしながらその方法と発展について理解する。加えて、プロスポーツ選手(トップアスリート含む)の指導法、育成法などより詳しく具体的な指導法にも例を参考に考えていく。			
授業内容			
1	指導者とは？指導者倫理		
2	健康・体力づくりとして、レクリエーションとして、クラブ活動としてのスポーツ指導の類別化①		
3	健康・体力づくりとして、レクリエーションとして、クラブ活動としてのスポーツ指導の類別化②		
4	健康・体力づくりとして、レクリエーションとして、クラブ活動としてのスポーツ指導の類別化③		
5	アスリートの発掘・育成・強化①		
6	アスリートの発掘・育成・強化②		
7	アスリートの発掘・育成・強化③		
8	種目別生徒指導の要点① 個人スポーツ種目について		
9	種目別生徒指導の要点② チーム(集団)スポーツ種目について		
10	一斉指導の特徴とその指導上の留意点①		
11	一斉指導の特徴とその指導上の留意点②		
12	一斉指導の特徴とその指導上の留意点③		
13	一斉指導の特徴とその指導上の留意点④		
14	小テスト		
15	班別指導の特徴とその指導上の留意点①		
16	班別指導の特徴とその指導上の留意点②		
17	班別指導の特徴とその指導上の留意点③		
18	班別指導の特徴とその指導上の留意点④		
19	グループ指導の特徴とその指導上の留意点(プレーヤーとの良い関係について①)		
20	グループ指導の特徴とその指導上の留意点(プレーヤーとの良い関係について②)		
21	グループ指導の特徴とその指導上の留意点(プレーヤーとの良い関係について③)		
22	グループ指導の特徴とその指導上の留意点(プレーヤーとの良い関係について④)		
23	グループ指導の特徴とその指導上の留意点(プレーヤーとの良い関係について⑤)		
24	個別指導の特徴とその指導上の留意点(中高年者のスポーツ指導について)①		
25	個別指導の特徴とその指導上の留意点(中高年者のスポーツ指導について)②		
26	個別指導の特徴とその指導上の留意点(中高年者のスポーツ指導について)③		
27	個別指導の特徴とその指導上の留意点(中高年者のスポーツ指導について)④		
28	個別指導の特徴とその指導上の留意点(中高年者のスポーツ指導について)⑤		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件: 校則に準じた出席と提出物 成績評価: 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
講義形式。ビデオ教材も数多く取り入れている。また、長年高校教諭として野球指導経験を活かし、スポーツ現場での指導方法について指導する。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年後期・2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	スポーツ社会学	根岸 昭子	60時間(4単位)
授業の到達目標			
現代社会とスポーツ・人とスポーツの関連性・分野を考察し、理解する			
講義概要			
現代社会とスポーツの関りについて、様々な分野を通じて考察し、人と社会とスポーツの関連性について学習する。			
授業内容			
1 オリエンテーション(授業の進め方等)			
2 社会学とスポーツ スポーツにおける社会学の位置づけ①			
3 社会学とスポーツ スポーツにおける社会学の位置づけ②			
4 社会学とスポーツ スポーツにおける社会学の位置づけ③			
5 社会学とスポーツ スポーツにおける社会学の位置づけ④			
6 小テスト			
7 社会学とスポーツ スポーツをする行為と社会による影響①			
8 社会学とスポーツ スポーツをする行為と社会による影響②			
9 社会学とスポーツ スポーツをする行為と社会による影響③			
10 社会学とスポーツ スポーツをする行為と社会による影響④			
11 社会学とスポーツ スポーツをする行為と社会による影響⑤			
12 社会学とスポーツ スポーツをする行為と社会による影響⑥			
13 小テスト			
14 人種・民族とスポーツ 歴史的にみたスポーツにおける人種・民族問題①			
15 人種・民族とスポーツ 歴史的にみたスポーツにおける人種・民族問題②			
16 人種・民族とスポーツ 歴史的にみたスポーツにおける人種・民族問題③			
17 人種・民族とスポーツ 歴史的にみたスポーツにおける人種・民族問題④			
18 人種・民族とスポーツ 歴史的にみたスポーツにおける人種・民族問題⑤			
19 人種・民族とスポーツ 歴史的にみたスポーツにおける人種・民族問題⑥			
20 小テスト			
21 ジェンダーとスポーツ ジェンダーとは何か①			
22 ジェンダーとスポーツ ジェンダーとは何か②			
23 ジェンダーとスポーツ ジェンダーとは何か③			
24 ジェンダーとスポーツ ジェンダーとは何か④			
25 ジェンダーとスポーツ ジェンダーとは何か⑤			
26 ジェンダーとスポーツ らしさとスポーツ①			
27 ジェンダーとスポーツ らしさとスポーツ②			
28 ジェンダーとスポーツ らしさとスポーツ③			
29 まとめ			
30 定期試験			
成績評価			
履修条件: 校則に準じた出席と提出物 成績評価: 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
教室での講義形式。ロールプレイングやプレゼンテーションも行う。			

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	ビジネス教養	小高 美雪	60時間(4単位)
授業の到達目標			
社会人の基礎知識となるコミュニケーション、プレゼンテーション能力を向上させる。			
講義概要			
社会人としての常識(敬語表現や服装、冠婚葬祭等)などの基礎コミュニケーションから、即戦力としてビジネスシーンで効果的な自己表現の仕方について、多くの事例をもとに学習する。			
授業内容			
1	授業ガイダンス		
2	コミュニケーションの基本1ー①		
3	コミュニケーションの基本1ー②		
4	コミュニケーションの基本2ー①		
5	コミュニケーションの基本2ー②		
6	コミュニケーションとファシリテーター1		
7	コミュニケーションとファシリテーター2		
8	自分を知る1ー①		
9	自分を知る1ー②		
10	自分を知る2ー①		
11	自分を知る2ー②		
12	自分を知る2ー③		
13	聞く技術1ー①		
14	聞く技術1ー②		
15	聞く技術1ー③		
16	小テスト		
17	聞く技術2ー①		
18	聞く技術2ー②		
19	伝える技術(プレゼンテーション基礎)1ー①		
20	伝える技術(プレゼンテーション基礎)1ー②		
21	伝える技術(プレゼンテーション基礎)1ー③		
22	伝える技術(プレゼンテーション基礎)2ー①		
23	伝える技術(プレゼンテーション基礎)2ー②		
24	伝える技術(プレゼンテーション基礎)2ー③		
25	伝える技術(プレゼンテーションステップアップ)1ー①		
26	伝える技術(プレゼンテーションステップアップ)1ー②		
27	伝える技術(プレゼンテーションステップアップ)2ー①		
28	伝える技術(プレゼンテーションステップアップ)2ー②		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
講義形式。ロールプレイング、プレゼンテーション、ビデオ教材も数多く取り入れている			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年後期・2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(演習)	ホームページ作成応用	奥村 大介	60時間(4単位)
授業の到達目標			
個人でホームページを作成する技術を習得する			
講義概要			
ソフトウェアの利用方法よりも、言語の文法や記述スタイルに重点を置く			
授業内容			
1 オリエンテーション(授業の進め方等)			
2 ゼロからのWebページ作成①			
3 ゼロからのWebページ作成②			
4 ゼロからのWebページ作成③			
5 ゼロからのWebページ作成④			
6 主なHTMLタグの説明①			
7 主なHTMLタグの説明②			
8 主なHTMLタグの説明③			
9 主なHTMLタグの説明④			
10 小テスト			
11 CSSによる書式設定①			
12 CSSによる書式設定②			
13 CSSによる書式設定③			
14 CSSによる書式設定④			
15 CSSによる書式設定⑤			
16 画像の挿入と箇条書きの方法①			
17 画像の挿入と箇条書きの方法②			
18 画像の挿入と箇条書きの方法③			
19 画像の挿入と箇条書きの方法④			
20 画像の挿入と箇条書きの方法⑤			
21 画像の挿入と箇条書きの方法⑥			
22 scriptタグによる書式の統合①			
23 scriptタグによる書式の統合②			
24 scriptタグによる書式の統合③			
25 scriptタグによる書式の統合④			
26 外部ファイルによる書式の統一			
27 外部ファイルによる書式の統一			
28 外部ファイルによる書式の統一			
29 まとめ			
30 定期試験			
成績評価			
履修条件: 校則に準じた出席と提出物 成績評価: 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
演習形式。PC教室にて実施、印刷教材を使用			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(演習)	ホームページ作成基礎	武内 正史	60時間(4単位)
授業の到達目標			
Webページ作成の基礎知識を身に付けることを目的とする			
講義概要			
webページ作成の基礎である「HTML」についての知識を身に付ける			
授業内容			
1 オリエンテーション(授業の進め方等)			
2 <div>、タグによる文書構造の表現①			
3 <div>、タグによる文書構造の表現②			
4 <div>、タグによる文書構造の表現③			
5 <div>、タグによる文書構造の表現④			
6 style属性による文字の色の変更、背景色の設定①			
7 style属性による文字の色の変更、背景色の設定②			
8 style属性による文字の色の変更、背景色の設定③			
9 style属性による文字の色の変更、背景色の設定④			
10 小テスト			
11 <style>タグによるスタイルシートの設定①			
12 <style>タグによるスタイルシートの設定②			
13 <style>タグによるスタイルシートの設定③			
14 <style>タグによるスタイルシートの設定④			
15 <style>タグによるスタイルシートの設定⑤			
16 <table>タグの利用方法①			
17 <table>タグの利用方法②			
18 <table>タグの利用方法③			
19 <table>タグの利用方法④			
20 <table>タグの利用方法⑤			
21 <table>タグの利用方法⑥			
22 .cssファイルによるスタイルシートの設定①			
23 .cssファイルによるスタイルシートの設定②			
24 .cssファイルによるスタイルシートの設定③			
25 .cssファイルによるスタイルシートの設定④			
26 .cssファイルによるスタイルシートの設定①			
27 .cssファイルによるスタイルシートの設定②			
28 .cssファイルによるスタイルシートの設定③			
29 まとめ			
30 定期試験			
成績評価			
履修条件: 校則に準じた出席と提出物			
成績評価: 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
演習形式。PC教室にて実施、印刷教材を使用			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	ライフデザイン論Ⅰ	根岸 昭子	60時間(4単位)
授業の到達目標			
自分らしく生きるために自分の夢や目標を具体的にデザインできるようになる。			
講義概要			
今から自分の人生を描いてみることは、未来から自分を見つめることを学生時代からやるべき。ライフデザインとは何か？を考えていく。			
授業内容			
1オリエンテーション(授業の進め方等)			
2自己実現に向けて、自分にとって良い仕事、良い職場を各種業界から学ぶ①			
3自己実現に向けて、自分にとって良い仕事、良い職場を各種業界から学ぶ②			
4自己実現に向けて、自分にとって良い仕事、良い職場を各種業界から学ぶ③			
5自己実現に向けて、自分にとって良い仕事、良い職場を各種業界から学ぶ④			
6自己実現に向けて、自分にとって良い仕事、良い職場を各種業界から学ぶ⑤			
7自己実現に向けて、自分にとって良い仕事、良い職場を各種業界から学ぶ⑥			
8自己実現に向けて、自分にとって良い仕事、良い職場を各種業界から学ぶ⑦			
9小テスト			
10これからの専門学校生活を考え、マインドマップによる自分の探索①			
11これからの専門学校生活を考え、マインドマップによる自分の探索②			
12これからの専門学校生活を考え、マインドマップによる自分の探索③			
13これからの専門学校生活を考え、マインドマップによる自分の探索④			
14これからの専門学校生活を考え、マインドマップによる自分の探索⑤			
15これからの専門学校生活を考え、マインドマップによる自分の探索⑥			
16これからの専門学校生活を考え、マインドマップによる自分の探索⑦			
17小テスト			
18自分のコミュニケーションスタイルを知る①			
19自分のコミュニケーションスタイルを知る②			
20自分のコミュニケーションスタイルを知る③			
21自分のコミュニケーションスタイルを知る④			
22自分のコミュニケーションスタイルを知る⑤			
23自分のコミュニケーションスタイルを知る⑥			
24生き生きと自分らしく生きていくための能力を身に付ける①			
25生き生きと自分らしく生きていくための能力を身に付ける②			
26生き生きと自分らしく生きていくための能力を身に付ける③			
27生き生きと自分らしく生きていくための能力を身に付ける④			
28生き生きと自分らしく生きていくための能力を身に付ける⑤			
29まとめ			
30定期試験			
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
教室での講義形式。ロールプレイングやプレゼンテーションも行う。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年後期・2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	ライフデザイン論Ⅱ	平野 有理	60時間(4単位)
授業の到達目標			
自分の夢や目標をより具体的にデザインする。			
講義概要			
変化の激しい社会においては、自らの人生を自分自身で切り開くことを目標とする。			
授業内容			
1	オリエンテーション(授業の進め方等)		
2	適性検査 説明		
3	適性検査 実施		
4	適性検査 振り返り		
5	自己理解①		
6	自己理解②		
7	自己理解③		
8	自己理解④		
9	自己理解⑤		
10	自己理解⑥		
11	小テスト		
12	自分の強みの強化法①		
13	自分の強みの強化法②		
14	自分の強みの強化法③		
15	自分の強みの強化法④		
16	自分の強みの強化法⑤		
17	自分の強みの強化法⑥		
18	自分の強みの強化法⑦		
19	激変する日本社会①		
20	激変する日本社会②		
21	激変する日本社会③		
22	激変する日本社会④		
23	激変する日本社会⑤		
24	小テスト		
25	将来設計①		
26	将来設計②		
27	将来設計③		
28	将来設計④		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
教室での講義形式。ロールプレイングやプレゼンテーションも行う。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	救急処置法	高木 大輔	60時間(4単位)
授業の到達目標			
一次救命処置についての正しい知識とその方法を身に付けることを目標とする。			
講義概要			
スポーツの外傷に対して、救急処置がしっかり行われたか否かによって、その後のスポーツ復帰までの期間が大きく左右されることから、正しい応急処置についての実技・講義を行う。			
授業内容			
1	救急処置についての基本知識の説明		
2	スポーツ外傷時の救急処置① 緊急時の対応(フローチャートにて説明)計画		
3	スポーツ外傷時の救急処置② (外傷の認知と評価・判断)		
4	スポーツ外傷の救急処置③		
5	スポーツ外傷の救急処置④		
6	スポーツ外傷の救急処置⑤		
7	小テスト		
8	三角巾の使い方①		
9	三角巾の使い方②		
10	三角巾の使い方③		
11	三角巾の使い方④		
12	小テスト		
13	内科的疾患における救急処置①		
14	内科的疾患における救急処置②		
15	内科的疾患における救急処置③		
16	内科的疾患における救急処置④		
17	内科的疾患における救急処置⑤		
18	内科的疾患における救急処置⑥		
19	小テスト		
20	アイシングについて①		
21	アイシングについて②		
22	アイシングについて③		
23	アイシングについて④		
24	アイシングについて⑤		
25	アイシング実践①		
26	アイシング実践②		
27	アイシング実践③		
28	アイシング実践④		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
講義形式と人体模型やAED等の医療器具を使用した実技を併用。			

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年後期・2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	健康科学概論	小高 深雪	60時間(4単位)
授業の到達目標			
健康に関する概念や、健康増進に関する国の施策や現代の健康問題についての知識を理解する。			
講義概要			
生涯を通じた健康づくりを運動、栄養、休養、コミュニケーション、医学等、様々な側面から学習する。			
授業内容			
1	生活と健康 その①		
2	生活と健康 その②		
3	生活と健康 その③		
4	生活と健康 その④		
5	食生活と健康 その①		
6	食生活と健康 その②		
7	食生活と健康 その③		
8	食生活と健康 その④		
9	小テスト		
10	疾病とその予防 その①		
11	疾病とその予防 その②		
12	疾病とその予防 その③		
13	疾病とその予防 その④		
14	成人病と予防 その①		
15	成人病と予防 その②		
16	成人病と予防 その③		
17	成人病と予防 その④		
18	小テスト		
19	青年期の発育と発達 その①		
20	青年期の発育と発達 その②		
21	青年期の発育と発達 その③		
22	青年期の発育と発達 その④		
23	心と健康 その①		
24	心と健康 その②		
25	くずりと健康 その①		
26	くずりと健康 その②		
27	くずりと健康 その③		
28	くずりと健康 その④		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
講義形式。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	自己開発論Ⅰ	小高 深雪	60時間(4単位)
授業の到達目標			
自身のキャリアを形成するにあたり、期待される人材になるための知識を目指す。			
講義概要			
変化の激しい中、これが正しいというキャリアモデルはなく、自ら考え学び自分の将来像を探求する。			
授業内容			
1	オリエンテーション(授業の進め方等)		
2	働く意識①		
3	働く意識②		
4	働く意識③		
5	働く意識④		
6	働く意識⑤		
7	働く意識⑥		
8	小テスト		
9	会社の基本とルール①		
10	会社の基本とルールⅡ		
11	会社の基本とルール③		
12	会社の基本とルール④		
13	仕事時の態度と姿勢①		
14	仕事時の態度と姿勢Ⅱ		
15	仕事時の態度と姿勢③		
16	仕事時の態度と姿勢④		
17	指示を受けるポイント①		
18	指示を受けるポイント②		
19	指示を受けるポイント③		
20	指示を受けるポイント④		
21	小テスト		
22	ビジネスにふさわしい話し方①		
23	ビジネスにふさわしい話し方②		
24	ビジネスにふさわしい話し方③		
25	ビジネスにふさわしい話し方④		
26	ビジネスの場にふさわしい言葉遣い①		
27	ビジネスの場にふさわしい言葉遣い②		
28	ビジネスの場にふさわしい言葉遣い③		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
教室での講義形式。印刷教材を使用する。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年後期・2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	自己開発論Ⅱ	増田 葉里	60時間(4単位)
授業の到達目標			
自信を深く知り、持ち味を生かす「キャリアデザイン」を育成する			
講義概要			
「キャリア」の意味を理解し、望ましい就職観、勤労観、そして職業についての知識を身に付ける			
授業内容			
1	オリエンテーション(授業の進め方等)		
2	キャリアデザインの意味①		
3	キャリアデザインの意味②		
4	キャリアデザインの意味③		
5	キャリアデザインの意味④		
6	自分を深く知る①		
7	自分を深く知る②		
8	自分を深く知る③		
9	自分を深く知る④		
10	小テスト		
11	キャリアと投資①		
12	キャリアと投資②		
13	キャリアと投資③		
14	キャリアと投資④		
15	自分の職業適性①		
16	自分の職業適性②		
17	自分の職業適性③		
18	自分の職業適性④		
19	自分の職業適性⑤		
20	自分の職業適性⑥		
21	小テスト		
22	社会人としての位置①		
23	社会人としての位置②		
24	社会人としての位置③		
25	社会人としての位置④		
26	人生とキャリアの条件①		
27	人生とキャリアの条件②		
28	人生とキャリアの条件③		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
教室での講義形式。印刷教材を使用する。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	健康スポーツ科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(演習)	情報処理技術 I	増田 葉里	60時間(4単位)
授業の到達目標			
Wordの基礎を習得し、ビジネスツールとして活用できる操作能力を身に付ける。			
講義概要			
コンピュータの概念や基本操作から始まり、 タッチメソッドやWindows操作、代表的なソフトであるWordの操作方法について学び、ビジネス文書の作り方やグラフ等の作成も行う。			
授業内容			
1 ガイダンス…授業の進め方・内容・評価について			
2 タイピングを覚える…新しいキーの練習(ステップ1～4)			
3 タイピングを覚える…新しいキーの練習(ステップ5～8)			
4 タイピングを覚える…上達練習①			
5 タイピングを覚える…上達練習②			
6 タイピングを覚える…上達練習③			
7 小テスト			
8 タイピングを覚える…テンキーの練習①			
9 タイピングを覚える…テンキーの練習②			
10 タイピングを覚える…テンキーの練習③			
11 Wordの基本操作…Wordの起動と終了			
12 文字の入力…文字入力・訂正の方法①			
13 文字の入力…文字入力・訂正の方法②			
14 文字の入力…文字入力・訂正の方法③			
15 文字の入力…文字入力・訂正の方法④			
16 ビジネス文書の作成…コピー・移動・文字体裁の設定①			
17 ビジネス文書の作成…コピー・移動・文字体裁の設定②			
18 ビジネス文書の作成…コピー・移動・文字体裁の設定③			
19 ビジネス文書の作成…コピー・移動・文字体裁の設定④			
20 小テスト			
21 ビジネス文書の作成印刷…印刷機能の説明①			
22 ビジネス文書の作成印刷…印刷機能の説明②			
23 ビジネス文書の作成印刷…印刷機能の説明③			
24 ビジネス文書の作成印刷…印刷機能の説明④			
25 ビジネス文書の作成印刷…印刷機能の説明⑤			
26 ビジネス文書の編集…行間・インデント・均等割付の設定①			
27 ビジネス文書の編集…行間・インデント・均等割付の設定②			
28 ビジネス文書の編集…行間・インデント・均等割付の設定③			
29 まとめ			
30 定期試験			
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
演習形式。PC教室使用			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年後期・2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(演習)	情報処理演習Ⅱ	小高 深雪	60時間(4単位)
授業の到達目標			
Excelの基礎を習得し、ビジネスツールとして活用できる操作能力を身に付ける。			
講義概要			
コンピュータの概念や基本操作から始まり、 タッチメソッドやWindows操作、代表的なソフトであるExcei等の操作方法について学び、ビジネス文書の作り方やグラフ等の作成も行う。			
授業内容			
1 ガイダンス…授業の進め方・内容・評価について			
2 Excelの基本…WindowsとExcelの基本操作①			
3 Excelの基本…WindowsとExcelの基本操作②			
4 Excelの基本…WindowsとExcelの基本操作③			
5 データの入力方法…数値・文字の入力及び編集①			
6 データの入力方法…数値・文字の入力及び編集②			
7 データの入力方法…数値・文字の入力及び編集③			
8 小テスト			
9 ブックの作成と保存…ファイルの呼び出しと保存①			
10 ブックの作成と保存…ファイルの呼び出しと保存②			
11 ワークシートの装飾…表示形式・フォント・文字位置の設定①			
12 ワークシートの装飾…表示形式・フォント・文字位置の設定②			
13 表計算の作成…データを表形式で計算①			
14 表計算の作成…データを表形式で計算②			
15 表計算の作成…データを表形式で計算③			
16 表計算の作成…データを表形式で計算④			
17 小テスト			
18 関数の利用…関数を使用した計算式(SUM,AVERAGE,MAX,MIN,IF)①			
19 関数の利用…関数を使用した計算式(SUM,AVERAGE,MAX,MIN,IF)②			
20 関数の利用…関数を使用した計算式(SUM,AVERAGE,MAX,MIN,IF)③			
21 関数の利用…関数を使用した計算式(SUM,AVERAGE,MAX,MIN,IF)④			
22 関数の利用…関数を使用した計算式(SUM,AVERAGE,MAX,MIN,IF)⑤			
23 関数の利用…関数を使用した計算式(SUM,AVERAGE,MAX,MIN,IF)⑥			
24 小テスト			
25 高度なワークシート作成			
26 高度なワークシート作成			
27 グラフ作成…表データをもとにグラフの作成・編集			
28 グラフ作成…表データをもとにグラフの作成・編集			
29 まとめ			
30 定期試験			
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物			
成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
演習形式。PC教室使用			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(演習)	情報処理技術演習Ⅰ	荒木 大	60時間(4単位)
授業の到達目標			
WordやExcelの基礎を習得し、ビジネスツールとして活用できる操作能力を身に付ける。			
講義概要			
パソコンの日本語ワープロソフトの有効な利用と情報社会に参加することで、身に付けておかねばならない知識を学習し、情報の真偽を見抜く			
授業内容			
1	ガイダンス…授業の進め方・内容・評価について		
2	コミュニケーションの特徴①		
3	コミュニケーションの特徴②		
4	コミュニケーションの特徴③		
5	コミュニケーションの特徴④		
6	コミュニケーションの特徴⑤		
7	情報発信と注意点①		
8	情報発信と注意点②		
9	情報発信と注意点③		
10	情報発信と注意点④		
11	情報発信と注意点⑤		
12	情報謝意の影①		
13	情報謝意の影②		
14	情報謝意の影③		
15	情報謝意の影④		
16	情報謝意の影⑤		
17	情報モラル①		
18	情報モラル②		
19	情報モラル③		
20	情報モラル④		
21	情報モラル⑤		
22	小テスト		
23	セキュリティ①		
24	セキュリティ②		
25	セキュリティ③		
26	セキュリティ④		
27	セキュリティ⑤		
28	セキュリティ⑥		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物 成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
演習形式。PC教室使用			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年後期・2年後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(演習)	情報処理技術演習Ⅱ	荒木 大	60時間(4単位)
授業の到達目標			
PowerPoint基礎を理解し、プレゼンテーションの仕方を学ぶ。			
講義概要			
就職・進学に必要な文書作成、表計算、を使用しPowerPointにてプレゼンテーション基礎を習得する			
授業内容			
1	ガイダンス…授業の進め方・内容・評価について		
2	Word応用演習① ビジネス文書		
3	Word応用演習② 情報セキュリティとネチケット講義		
4	Word応用演習③ レポートの書き方		
5	Word応用演習④ レポート作成		
6	小テスト		
7	Excel基本操作の確認		
8	Excel応用演習①		
9	Excel応用演習②		
10	Excel応用演習③		
11	小テスト		
12	Excelのワークシート取り込み・リンク貼り付け①		
13	Excelのワークシート取り込み・リンク貼り付け②		
14	Excelのワークシート取り込み・リンク貼り付け③		
15	図形の書式設定と挿入①		
16	図形の書式設定と挿入②		
17	図形の書式設定と挿入③		
18	小テスト		
19	複雑な形の図形を描く①		
20	複雑な形の図形を描く②		
21	アニメーションの設定①		
22	アニメーションの設定②		
23	アニメーションの設定③		
24	スライドの印刷、資料作成①		
25	スライドの印刷、資料作成②		
26	プレゼンテーションの校閲①		
27	プレゼンテーションの校閲②		
28	プレゼンテーションの校閲③		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件: 校則に準じた出席と提出物 成績評価: 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
演習形式。PC教室使用			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
社会体育専門課程 (職業実践専門課程)	健康スポーツ科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	発育発達・老化論Ⅰ	内山 卓也	60時間(4単位)
授業の到達目標			
身体、運動能力、運動スキルの発育・発達・老化のプロセスを学習し、知識を身に付けることを目標とする。			
人間は、その成長過程において様々な変化を見せる。この変化の課程を通して、人間の身体(骨、筋肉、内臓、等)、運動能力(有酸素性作業能力、無酸素性作業能力)、運動スキル(歩・走・跳・投)の発育・発達のプロセスを学習し、習得する。加えて、成人以降の体力の変化、それに関係した遺伝的要因、老化についても理解を深めさせる。			
授業内容			
1	ガイダンス(授業の進め方)		
2	身体的発育発達・老化(解剖学的な発育発達・老化について)①		
3	身体的発育発達・老化(解剖学的な発育発達・老化について)②		
4	生物体の構成・細胞①		
5	生物体の構成・細胞②		
6	生物体の構成・細胞③		
7	小テスト		
8	組織・器官と器官系①		
9	組織・器官と器官系②		
10	組織・器官と器官系③		
11	骨の構造・形状・成分の発育・発達①		
12	骨の構造・形状・成分の発育・発達②		
13	骨の構造・形状・成分の発育・発達③		
14	小テスト		
15	関節の構造・種類・運動①		
16	関節の構造・種類・運動②		
17	関節の構造・種類・運動③		
18	骨格・頭蓋・顎関節①		
19	骨格・頭蓋・顎関節②		
20	骨格・頭蓋・顎関節③		
21	小テスト		
22	脊柱・胸郭①		
23	脊柱・胸郭②		
24	脊柱・胸郭③		
25	脊柱・胸郭④		
26	上肢骨・下肢骨①		
27	上肢骨・下肢骨②		
28	上肢骨・下肢骨③		
29	まとめ		
30	定期試験		
成績評価			
履修条件: 校則に準じた出席と提出物 成績評価: 授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以上の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
講義形式。ビデオ教材も数多く取り入れている			

日本ウェルネススポーツ専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
スポーツビジネス専門課程	ウェルネスIT科	2025年度	1年前期・2年前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位時間数
専門教育科目(講義)	販売経営理論	平野 有理	60時間(4単位)
授業の到達目標			
販売における知識を習得し、希望としては販売士の資格に挑戦			
講義概要			
小売業における5分野(小売業の類型、マーチャンダイジング、ストアオペレーション、マーケティング、販売・経営管理)の基本知識を習得する			
授業内容			
1 オリエンテーション(授業の進め方等)			
2 小売り業の類型①			
3 小売り業の類型②			
4 小売り業の類型③			
5 小売り業の類型④			
6 流通経路における小売業のポジション①			
7 流通経路における小売業のポジション②			
8 流通経路における小売業のポジション③			
9 流通経路における小売業のポジション④			
10 小テスト			
11 販売経路の種類と特徴①			
12 販売経路の種類と特徴②			
13 販売経路の種類と特徴③			
14 販売経路の種類と特徴④			
15 販売経路の種類と特徴⑤			
16 生鮮食品を中心とするスーパーマーケット①			
17 生鮮食品を中心とするスーパーマーケット②			
18 生鮮食品を中心とするスーパーマーケット③			
19 便利なコンビニエンスストア①			
20 便利なコンビニエンスストア②			
21 便利なコンビニエンスストア③			
22 便利なコンビニエンスストア④			
23 便利なコンビニエンスストア⑤			
24 毎日低価格が特徴のスーパーセンター①			
25 毎日低価格が特徴のスーパーセンター②			
26 毎日低価格が特徴のスーパーセンター③			
27 チェーンストア組織の基本知識①			
28 チェーンストア組織の基本知識②			
29 まとめ			
30 定期試験			
成績評価			
履修条件:校則に準じた出席と提出物			
成績評価:授業中の課題及び定期試験の結果で成績評価を行う。なお、出席が全体の3/4以下の場合は特別補講受講が必要となる。また、出席が全体の半分以下の場合は成績評価の対象外となる			
授業の特徴・形式等			
講義形式。教室にて実施。印刷教材を使用			